

断熱等性能等級5



断熱等性能等級5

断熱等性能等級とは、品確法(住宅の品質確保の促進等に関する法律)に規定された省エネ性能を表す等級のことを示したものであり、国土交通省が制定しています。断熱等性能等級はこれまでに何度も更新されており、2022年4月1日時点では5つのランクが設定されていましたが、同じく2022年10月1日から、新たに等級6、7が創設されました。

当社施工街並み

快適・健康・安全・経済性に
すぐれた高性能グラスウールです。



断熱で、住みごこちのいい家!

冬、暖房しても部屋全体が暖まらず足元が寒い。夏、冷房が効きにくい。こんな不快感も、クリアで、しっかり断熱すると解消できる。心地いい部屋になるよ

断熱すると

冬、同じ室温でも暖かさが違う

同じ温度でもカラダが感じる温度(体感温度)が違うことをご存じですか? 例えば気温が30℃の時、道路と緑の多い公園にいるのではどちらが涼しく感じられるでしょう。下の図は断熱性能が高い家と低い家で、同じ室温20℃で体感温度がどのくらい違うかを示したものです。室温が同じ

でも、床、壁の表面温度が低いと寒く感じられることがわかります。断熱性能を高めると表面温度が上がり、室温20℃でも十分暖かく感じられるようになります。また、室内の温度ムラが少なくなるため、足元も壁際も暖かく快適に過ごせます。

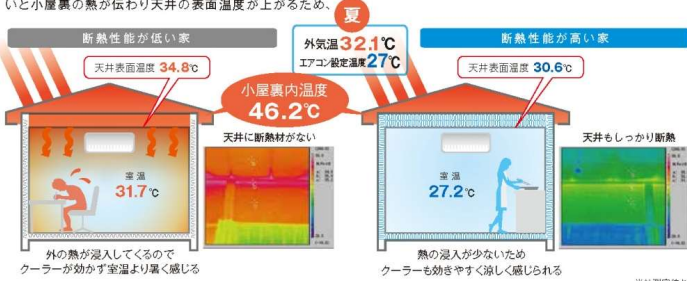


断熱すると

夏、クーラーが効くようになる

断熱性能を高めることでクーラーが効きやすくなり、夏もグンと過ごしやすくなります。特に夏は小屋裏内の温度が50℃近くまで上がるため、天井に断熱材を施工していないと小屋裏の熱が伝わり天井の表面温度が上がるため、

同じクーラーの設定温度でも暑く感じられます。天井にもしっかりと断熱材を入れ、建物の断熱性能を高めることで、27℃設定でも涼しく快適に過ごせます。



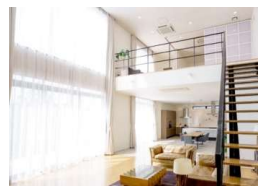
快適な暮らしを実現する
Low-E複層ガラス採用。

快適性とは五感で感じるもの。より心地よい暮らしを支える充実設備。

「外部の騒音が聞こえないこと」「どの角度から見ても美しい室内であること」「不快指数の根本である湿度を感じないこと」そして「広すぎず狭すぎず丁度いい広さであること」などをお客様と綿密に打ち合わせいたします。

Low-E複層ガラス

快適性を求められる方に、Low-E複層ガラスをおすすめいたします。窓から入ってくる日射熱の約60%をシャットアウト。また、人体に有害といわれる紫外線を約82%もカット。家具やカーテンなどの変色も抑えることができ、結露防止にも役立ちます。



Low-E複層ガラスは、室外側ガラスをLow-E膜でコーティングした日射遮蔽型の複層ガラスです。日射エネルギーを大きく反射するうえに、ガラス自体が吸収したほとんどの熱を室外へ放出し、夏の冷房効果を高めます。さらに冬は高断熱性能を発揮。室外の冷たさを室内に伝えにくく、室内の暖かさを室外に逃がしにくくするので暖房効率の向上にも役立ちます。

